



白鳥ひろば

A large, faint, light-colored illustration of a white bird, possibly a swan or heron, is visible in the background, centered behind the text.

YOUKO

4年生との出会い。

6年、5年と担任を下りてきて、今年は4年生の担任である。

学年が違えば、全然と言っていいほど知らない子どもたち。

それでも2～3人は、兄弟関係で知ってはいたが・・・。

楽しみである。

4月・・・

新学期のワクワク感は、

子どもも教師も

きっと 同じ・・・

4月8日金曜日。始業式。

最初の出会いは、白いスーツで決めることにしている。

真っ白のキャンバスに 子どもたちと描いていく一年・・・

そんなイメージで。

白いスーツに 自分をのせて・・・

担任紹介の後、いざ、教室へ。

私のクラスは 「4年4組」

おはよう！

おはようございま～す！

このときの この瞬間の 私に向かう目・・・

キラキラと 輝く瞳が 58

この新鮮さ 好きでたまらず

朝は、いつも 声を出すことから始まる。

なぜなら、教室は「伝え合うところ」 だから。

『今日一日、いっぱい思いを伝え合って、いっぱい学び合おう。そのためには、まず声を出そう。自分の声を、友達のを、聞き合おう。』

が 私のモットー。

だから、

朝の会での

群読 & 歌 を 大切にしている。

パターンはいろいろあるけれど、

学級づくりの4月は “Make a big curkle” かな、いつも。

(まあ、この形態がわりと続くんだけどね)

顔を見合って、互いの声を感じ合う。声の響きを感じ合う。声が一つになっていく。

それは、

心が一つになっていく過程・・・

朝の会 「three・two・one」 で 「あいうえお」
言葉と心 響かせ合おう

だんだんと

自分たちのテンポをつかんでいく。

自分たちの詩(うた)に なる。

『群読』は がっしょう。

自分たちで つくりあげる『共同制作』。

“今、ここ”の響きは、世界に一つの『作品』なんだよ。

昨年まで、9月に行われていた運動会。

昨今の温暖化現象による残暑の厳しさから、最近は5月開催の学校が増えてきた。

昨年担任していた5年生が、最高学年として活躍する運動会。しかも、5月開催一年目。新しい伝統をつくる彼ら・・・

応援団長として、グループ長として、

また、さまざまな係の役割を担って積極的に動く彼ら・・・

頼もしかった。

嬉しかった。

担任を

離れればこそ

味わえる

いとしい子らの

伸びゆく姿

すばらしい伝統を築いたね。

組体操の雄姿・・・泣けたよ。

基本的に、授業をするのは 好き。

授業をあれこれと考えるのが これまた楽しい。

教師名利だものね。しかけと反応がたまらない。ワクワクするよね。

授業を創る・・・それはまさに、“creative な感性”そのもの。

創るプロセス、そして、実践するプロセスが たのしい。

もちろん、子どもあってこそ！です。

「教室」は 「まちがうところ」で終わらさず 学び合う場に育てたいもの

張りつめた 空気を揺らす言葉のリレー 耳に響くは 鼓動の連鎖

授業はね みんなを乗せて飛ぶ気球 興味と意欲が 燃料さ！

“あっ”と“わぁ” クイズにバトル・サプライズ 楽しく学ば 私流

テンポよく ゲーム感覚忘れずに 授業づくりの面白さ

授業には 「上手」「成功」ありゃしない あるのは情熱！想像力！

私の信条です・・・（笑）

突然の別れ

公立学校の教師には異動がある。

私は、現在の学校に6名の教師とともに着任した。

そのうちの一名が 突然に 天に召された。

あまりにも 突然だった。

まだ、お礼の言葉も伝えていないのに

お見舞いの言葉も言っていないのに

その方は 教頭先生・・・

颯爽と歩く、明快に話す、笑顔の素敵な、その姿は誰よりも若々しい方だった。

映画の話で盛り上がった・・・

「湊かなえ」の本をお貸しし、感想を語り合った...

演劇やミュージカルがお好きだった...

・・・私が出演するミュージカル（地元開催の市民ミュージカル）も観に来てくださった

群読の指導に長けていらっかった・・・子どもたちの成長を喜んでくださった・・・

教頭職を全うしている姿は 尊敬に値した。

朝早くから学校内を巡視され、

朗らかな明るい声で 「おはようございます」と 私たちや子どもたちに声をかけられ、

話しながら話を聞いてくださる。

学校が大好きな方だった。

あの明るい声は 忘れられない・・・

日常の

中に ときおり

こだまする

生き急ぎ師の

「おはよう」の声

私たちは 忘れてはならないのです

決して忘れてはならないもの・・・そういうものがあるのです

始業式

在りし笑顔も

今は亡き

師を偲びての

終業式

夏休み

夏休みの学校って・・・こんな情景でしょうか

夏休み

ぼくらの出番！と

大はしゃぎ

校舎をにぎわす

蝉の合唱

夏休み

歓声聞こえぬ

午後1時

熱にいてつく

運動場

いつもなら子どもの声が響き渡っている学校も、

夏休みは全く違う表情を見せている。

長い長～い 夏休み・・・

今頃子どもたちは何をしているのかしら・・・

9月1日。

2学期始業式。

校舎は一転して 表情が変わる・・・

再びの

子らの笑顔と歓声に

校舎の色も輝いて見え

29人みんなが元気で来ていることが何よりも嬉しい。

さあ、描いていこう！！

みんなの2学期を。

実りの秋

秋はいい。

私は 春生まれ。だからということでもないが、一番好きな季節は やっぱり 春。

たぶん、“命のエネルギー”を 感じるからだろう。しかしながら・・・

秋はいい。

落ち着く...

心安らぐ・・・

真夏のガラガラ感から 解放されて 自分を取り戻せる 静かな季節・・・

秋といえば、「○○の秋」

こんな言葉は もう馴染み。

とにかく、私に言わせれば、み～んな **「実り」** なのです。

子どもたちも ぐ～んと 実ってほしい季節です。

「実り」 み・の・り

(福祉体験学習より)

明るさと チャレンジ精神 目のあたり 聞こえぬ方に 生き様学ぶ

(校外学習より)

子規めぐり 博物館にミュージアム 学びいっぱい 秋の一日

(オーケストラ鑑賞より)

バイオリン クラリネットにトロンボーン 十人十色の 音色楽しむ

(ドリル学習より)

秋風に のって鉛筆進む音 漢字・計算 なんだかできる！

すごいよ！みんな。

どんどん 伸びてね。

通信簿は、「励み」として渡すもの。

決して、ガッカリさせたり、劣等感を抱かせたりするためのものではない。

大切なのは、渡す私たち教師の意識・・・子どもを思う気持ち。

子どもが「がんばろう」って思えるように渡さなきゃ、と思っている。

“自尊感情”

よりよく自己実現していくための大切な原動力

まずは、自己受容すること

どんな状況の自分でも、

『自分は自分としてここに生きている、世界に一人の自分なんだ』

という感覚

大人であろうが子どもであろうが

人間として大切な感情

この自尊感情を、より育むための“通信簿”にしたい。

「ココがイイ！！」

一人一言 通信簿

渡す楽しみ もらう楽しさ

「伸びたね」と

子らに手渡す 通信簿

心をこめて 言葉にこめて

何気ない

この日常の

しあわせを

ひしと 噛みしめ

元日の朝

お正月休みはまた夏休みとは違ったものがある。

学年は変わらないのに、「生まれ変わる」ような感覚がある。

「大晦日」「新年」「初〇〇」といった言葉があるからだろうか……

世の中が新しい空気を醸し出していこうとする流れの中で、

自分もまた「新しい自分」へと、志新たにするのである。

冬休みも、一つの節目を担っているのだ。

冬休みの学校は 静かだ。

新年に向けて、静かに時を過ごしている。

その空気は、神聖である。

そして……

1月8日。3学期始業式。

年明けの

教室もまた

凜として

愛しき子らの

到来を待つ

4年生という時期に、子どもたちは『10歳』になる。

おめでとう！10歳！

キミは、これからいろいろなことを体験するだろう。

楽しいこと、辛いこと、苦しいこと、・・・etc

でも、どんなときも

自分に夢をもって、自分らしく生きていくんだよ。

4年生という時期は、人生において、一つの大きな節目。

しっかりと自分を生きていく・・・自分への道“my road”

その最初の扉を開けるとき。

それが、4年生。

だから

ともに祝おう。

自分を。自分たちの仲間を。

みんな、いい顔をしているよ！

2月の参観日：2分の1成人式

コブクロの

“さくら”にのせて

「決意」言う

子らの姿に

思わず 涙

ずっと 応援しているよ。

昨年、5年1組を担当した。

そのときの子どもたちが6年生になり、この1年間、数々の成長を見てきた。

運動会で

縦割り清掃で

様々な学校行事で

委員会活動で

登校で

あいさつで

．．．

担任じゃないからこそ、垣間見る姿に、成長を感じた。

私は、幾度となく、感動していた。

もうすぐ卒業．．．

卒業アルバムにのせたメッセージ

いつかまた めくるだろう そのときも 感じてほしい

いつの日か

思い出アルバム

めくるとき

精一杯の

エールが そこに

おめでとう、みんな。

ずっと 応援しているから．．．